

初期投資なく脱炭素へ

茨城・なめがたし J A ヒートポンプで実証

【茨城・なめがたし
おさい】J Aなめがた
しおさいは、J A三井
リース、カーボンクレ
ジットの創出や調達・
仲介を手がけるパイ
イル（東京都中央区）
と連携協定を締結し
た。ビニールハウスで
重油ボイラーとヒート
ポンプを併用するハイ
ブリッド空調システム

の有効性を検証。農家
負担なしで導入できる
方式と、温室効果ガス
の排出削減量を取引す
るJークレジット制度
を活用し、農家の省コ
スト生産につなげる。
ヒートポンプは初期
費用の負担が大きく、
普及の課題となってい
る。検証では農家が初
期投資を負担せずに設
備を導入できる「P P
Aモデル（熱供給サー
ビス）」を活用する。

のピーマン栽培ハウス
約9㍓で、締結日から
最長3年間を予定。冬
は湿度管理で病害虫抑
制、夏は冷房の高温対
策など、生産性向上の
可能性も確認する。



連携協定を結んだ（左から）J A三井リース宇都宮支店の金子高大支店長、金田組合長、パイウィルの下村雄一郎社長（茨城県行方市で）

J Aの金田富夫組合
長は「燃油コスト削減
に加え、農作物の品質
や収量の向上につなが
る効果を期待してい
る」と話す。
J A三井リースは
「農家への提供モデル
を確立し、他の作物に
も普及したい」とす
る。